

製品名: シヌクレイン α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe21060

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:14kD;Observed MW:18kD

抗原情報

遺伝子名	SNCA
別名	SNCA;NACP;PARK1;Alpha-synuclein;Non-A beta component of AD amyloid;Non-A4 component of amyloid precursor;NACP
遺伝子 ID	6622.0
SwissProt ID	P37840
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

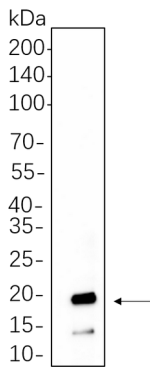
背景

細胞局在：細胞質、膜、核、細胞接合、シナプス、分泌、細胞投射、軸索。ドーパミン作動性ニューロンでは膜結合型 (PubMed:15282274)。ドーパミン作動性軸索終末、特に静脈瘤において SEPTIN4 と共局在し、発現する (相同性による)。α-シヌクレインは、β-シヌクレインおよび γ-シヌクレインを含むシヌクレインファミリーのメンバーである。シヌクレインは脳内に豊富に発現しており、α-シヌクレインおよび β-シヌクレインはホスホリパーゼ D2 を選択的に阻害する。SNCA はシナプス前シグナル伝達と膜輸送を統合する役割を果たすと考えられる。SNCA の欠陥はパーキンソン病の病因に関連している。SNCA ペプチドは、アルツハイマー病患者の脳におけるアミロイドプラークの主要成分です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写産物が同定されています。[RefSeq 提供、2016 年 2 月]

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、膜をシヌクレイン α ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。